

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>



あけましておめでとうございます

園長 秋保めぐみ

令和2年の年が明けました。令和になりいろいろ新しいことが始まり明るいムードに包まれていましたが、子どもたちを取り巻く環境はどうでしょうか？ 昨年“日本の子どもたちは世界で一番運動していない”“自分で考える力が低下している（応用力がない）”というデータがニュースで流れ、今の子どもたちの行く末が心配になりました。当園の保育目標は「やさしいところとつよいからだ」です。年長組は専門の体育の先生に毎週指導していただいています。体育遊びは、体だけではなく考える力も育ちます。これからもあきらめることなく、子どもたちの将来を見据え、食育・体育・美育の3本柱で生きる力を育てていかなければと強く思います。

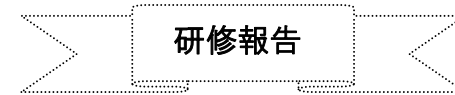
❀1月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	スプーンを持とう	スプーンを使って食事をする事にチャレンジ。スプーンで食べ物をすくい、口まで運ぶ事ができるようになる。
1才児	きれいに食べよう	椅子に正しく座り、食器に手を添えて食べることで食べこぼしを減らしていく。
2才児	自分のことを自分でしよう	もう少しですみれ組!おやつ袋を開けたり裏返った服を表に返したり、何事にも根気よく取り組む。
3才児	伝承あそび	花いちもんめ、あぶくたった、かごめかごめなど昔からの遊びをクラスみんなで楽しむ。
4才児	お正月あそび	こま、凧あげ、かるたなど伝統的なお正月あそびを楽しむなかで勝ち負けを意識し、色々なあそびのルールを知る。
5才児	自分の言葉で	実際に起きた事を筋道を立てて説明する。そして思っていることを自分の言葉で話し、相手に伝えようとする。

❀1月のプラン

15日(水) 弁当日      21日(火) 誕生会

≪15日(水)カンガルー広場(園庭開放)≫



研修報告

主任保育士 安食美保

ゆり組の子どもたちに30年間体育指導をして頂いている松岡先生に職員研修をお願いしました。鉄棒やマット、跳び箱の指導の仕方を教わりました。ケガが無く安全に遊ばせるための注意点を具体的に話して頂き、職員みんなで共通理解しました。体育遊びが苦手な子どもには、無理にさせるのではなく友だちがやっている様子を見ることから始め、1回やってみようと誘い、できたら“褒める”を繰り返していくこと。そして自信をもたせ「できる」を増やしていくと、体育遊びが好きになると話されていました。

寒い冬、室内遊びが増えますが体育的な遊びを取り入れて体を動かす工夫をし、研修で教わったことを活かして安全に注意しながら行っていきます。

ばら組担任 和田夏実

研修に行き、褒める叱るのポイントを教わりました。褒める時には、具体的に何が良かったかを、60秒以内に褒めると効果があるそうです。時間が経ってからだと子どもは何を褒められたのか忘れてしまうようです。また、子どもを叱る時は“おだやかに近づいて静かに”が大切で大声で叱るのは逆効果。ダメなことはダメだと叱り、その時にどのようにしたら良かったかを一緒に考えていくと良いそうです。関わる人が気持ちに余裕を持ち、笑顔で向き合うことが大切です。私たち職員も、笑顔で接することを常に意識します。

すみれ組担任 安養寺優奈

「菜園活動を通した学び」についての研修へ行きました。各保育園、こども園、幼稚園の栽培活動について実践報告をしました。保育園等で栽培した野菜はその日に食事に出したり、おやつ作りをしたりします。幼稚園では調理ができないため、自宅に持ち帰り夕食や翌日のお弁当に入れてもらうなど各園で工夫されていると感じました。実践報告で1番驚いたのは、家から海水を持ってきてコーヒーフILTERやペットボトルを使ってろ過し、塩を作ることです。塩作りは面白そうだと思います。栽培活動で植物の世話をし、観察すると発見があります。また、調理をする人への感謝や食べる喜びも味わえ、栽培活動ひとつで色々学べると知り、私が思っていた以上に良い経験でした。

薄着で元気な体づくり

副主任保育士 小田嶋幸恵

当園は、1年を通して薄着で強い体づくりをしています。特に冬のこの時期は、薄着だけでなく乾布摩擦やマラソンを取り入れています。薄着の良い点は…

- ①気温の変化を肌で敏感に感じ、衣服の調節を自分でする習慣がつく。
  - ②活発に動き回れる。
  - ③皮膚の抵抗力が高まり丈夫な体になる。
- 寒いとつい厚着をしがちですが、活発に動くと汗をかき、その汗が冷えた時に体が冷えて風邪をひく原因になります。子どもは運動量も多く体温が大人より高めなので、服を着せる時は「大人より1枚少なめ」を目安にして薄着を習慣づけていきましょう。



<編集後記>

昨年の漢字一文字は「令」。記念すべき新しい時代への幕開け、全国民が注目した新元号の一文字でした。この一文字はきっと十年後、二十年後も覚えていると思います。さて、新年が明けました。私は毎年「今年の一文字」を年始に思い浮かべます。今年は「笑」。とにかくたくさん笑って過ごすこと。簡単でありきたりですが、少し考えるだけでも1年をポジティブに過ごせそうな気がします。令和2年、みなさんはどんな1年にしたいですか？(藪)

<今月の担当：小田嶋幸恵・森本朋子・藪 真梨子>